

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立むらの高等支援学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	・ 生徒の自己肯定感・達成感や、働くための力の向上 ・ 地域との連携強化、外部への情報発信の充実
計画名	むらの『Smile & Music』プロジェクト ～地域に貢献し、地域に支持される MURANO キャリア教育プランの具現化に向けて～

2. 事業目標及び本年度の取り組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>3 共生社会作りへの参画と情報発信</p> <p>(3) 地域等との交流・連携を行う。特に、楽器指導支援プログラムにより継続的な演奏指導を受けるとともに演奏会への出演をめざす。あわせて、生徒が活躍できる機会の創出を図る。学校経営推進費（R3「むらの『Smile & Music』プロジェクト」）を活用して、表現活動の機会拡充、音楽活動を通じた自己表現力の習得・伸長、地域連携の充実をめざす。</p> <p>(4) 本校の取り組みと魅力が鮮明に伝わるように、創意工夫を行いながら積極的な広報を行う。</p>
事業目標	<p>「MURANO キャリア教育プラン」を具現化するシンボルとして『Smile & Music』プロジェクトを立ち上げる。</p> <p>このプロジェクトでは、NPO 法人ミュージック・シェアリングによる楽器指導支援プログラムを活用し、自己表現力の伸長を図るとともに、成果を発表する場として、学内演奏会と学外演奏会を実施する。また、各専門学科においても、演奏会を商品の制作・販売の成果発表の場ととらえ、全校一体となって取り組む。</p> <p>これらの取り組みを通じ、自己肯定感や望ましい職業観と勤労観の育成を図る。また、積極的に広報活動を行い、障がいのある生徒への理解促進や本校の認知度の向上、地域社会資源の発掘、職場実習先の確保につなげる。</p>
整備した 設備・物品	<p>① 楽器および保管棚、移動用ワゴン</p> <p>② 陶芸窯、木工機器、ビニールハウスなど新商品開発・制作用の設備</p> <p>③ パソコン、動画編集・音楽編集ソフトなど、広報コンテンツ制作用の設備</p>
取り組みの 主担・実施者	<p>主担者： 首席をリーダーとする「Smile & Music プロジェクトチーム」が取り組みを推進する。</p> <p>メンバー： 首席、音楽科担当者、専門学科授業担当者、カフェ授業担当者、情報科教員、音楽部教員</p> <p>実施者： 全教職員</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ NPO 法人ミュージック・シェアリングによる楽器指導支援プログラムの実施・ 枚方市総合文化芸術センターでの演奏会及び販売実践の実施・ 地域の方や保護者を招いた校内演奏会の実施・ ブログ及びホームページにて実践状況・報告を発信
成果の検証方法 と評価指標	<p>① 生徒アンケートを実施する。</p> <p>自己肯定感、達成感、就労意識などの項目を設定する。それぞれ肯定率 80%以上。</p>

	<p>② 校内演奏会を1回以上、校外演奏会を1回以上実施する。</p> <p>③ 活動報告を年に5回以上発信する。</p>
<p>自己評価</p>	<p>① 生徒アンケートの実施と結果について…………… (◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月の校外演奏会・販売実践（枚方市総合文化芸術センター）後にアンケートを実施した。 → 自己肯定感:93.1%、達成感:96.6% <p>② 校内演奏会の実施・校外演奏会の実施について…………… (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内:令和5年12月2日(土)の学校祭(本校体育館)で実施した。 ・校外:令和5年6月18日(日)に枚方市総合文化芸術センターで実施した。 ・同時に、同センターを会場として、専門学科による販売実践を実施した。 <p>③ 情報発信について…………… (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ブログに活動報告を5回掲載した(学校祭の報告を含む)。 ・学校ホームページに『Smile & Music』特設ページを設け、情報発信した。 <p>https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/smile%20_and_music_top.html</p>
<p>事業のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本取組みの音楽活動を通じて、生徒は、自己表現力の伸長、一人ひとりが活躍の場を得られたこと、チームワークの重要性を実感することができた。 → 生徒アンケートの結果から、生徒は高い水準の達成感や自己肯定感を得たことがわかる。 ・校外演奏会時の販売実践を通じて、枚方市より「ふるさと納税」の返礼品として、本校の製品(窯業製品など)を採用したい旨の申し入れがあり、令和5年12月より受注を開始した。これにより、本校の教育活動が広く認知され、地域や社会とのつながりを強めることができた。 → 本校生徒への理解が深まり、就労先・職場実習先の確保にもつながった。